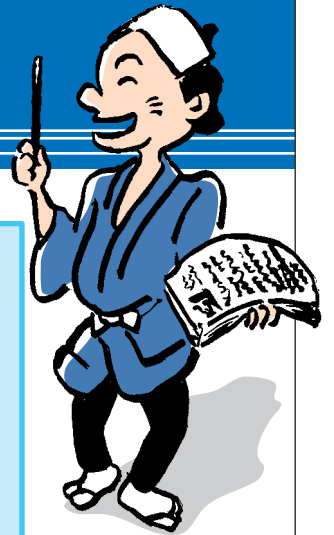


はらじゅくかわら版



国立病院横浜医療センターの理念

私たちは、患者様の人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける患者様中心の医療を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ地域完結型医療を目指します。

私たちは、健全な病院運営を心懸け、患者様がより良い診療が受けられ、地域で選ばれる病院になるべく日々努力していきます。



病院より富士山を望む

第3号 目次

新年挨拶	1
近隣協力医療施設から	2

お知らせコーナー

地域医療連携室	3
医療安全管理室	5
救急救命センター「就任挨拶」	6
看護部だより／ナースキャップをやめました	6
検討会・研究会等の開催	6

シリーズ

栄養相談－血圧と塩分の深～い関係	8
------------------	---

年末行事紹介	9
患者数の動向／編集後記	10
外来診療担当医表／表紙	11

発行 月：平成16年1月
発行 行：国立病院横浜医療センター広報委員会
発行責任者：高橋 俊毅
住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
電 話：045-851-2621
F A X：045-851-3902
U R L：http://www.hosp.go.jp/ yokoham/

※シリーズ時節の病気は今号休載します

年頭のご挨拶



独立行政法人化を迎えて「変わります」

国立病院横浜医療センター 院長 高橋 俊毅

本年4月1日より当センターは国立病院から独立行政法人国立病院機構横浜医療センターとなり、同時に新しい臨床研修医制度も開始され、二つの改革がスタートすることになります。独立行政法人では自由度が広がった利点を活かして良い医師を集め、診療の質向上に努めます。一方では健全な効率的病院経営も要求され、旧弊や国家公務員的体質を打ち破る院長以下職員全体の意識改革が強く求められています。「患者様中心の医療」、「地域で選ばれる病院」、「断らない病院」を掲げ、地域の病院との病病連携や診療所との病診連携を重視する急性期中心の地域完結型医療を目指します。核となる救命救急センターは12月に待望の指導医が赴任し、チーム編成が始まり、研修医の修練を含む院内診療勤務体制改革も行いますのでこれまで以上に地域の救急医療に貢献できることとなります。地域住民の方からの要望の強い小児救急も医師が4名体制から6名体制となり、休日夜間診療所や急病センターの開設時間は紹介の二次救急のみとし、急病センターが閉鎖される12時以後や休日の

午後4時から8時までの場合は一次も引き受ける予定です。地域の医療機関と連携し、輪番制により多く参加する方式の変則24時間、365日診療ということになります。なお、成人を含む救急初診の方は、次の診療は原則的に近医またはかかりつけ医師に逆紹介をいたします。当センターの「脳神経外科」「循環器診療」「女性外来」「母子センター」など従来からの評価が高い部門はさらに伸ばし、専門化の対極として総合診療科あるいは総合内科を立ち上げ、全人的診療や短期の検診や「良医となる基礎を学ぶ」臨床研修医の修練を担い、従来未整備であった呼吸器外科、腎臓内科の準備を始め、「高度総合診療」のレベルアップを目指します。現在病院全体で推進しているクリティカルパスは診療内容が根拠のある医療（EBM）と世界的に認められている方針（ガイドライン）が柱ですので医療の質が保障され、患者様にも診療内容や進行状況そして退院目標と予定日がわかりやすく提示されますので、無駄のない診療で医療費が安く、在院日数も短くなるなどの効果が認められます。平成16年

度中に在院日数17日以下（精神科を除く）を達成し、年度末の平成17年3月に日本病院評価機構の機能評価受審を目指します。病棟は2対1看護体制の手厚い看護を目標とし、治験や臨床研究を推進します。さらにより一層、医療の安全管理と透明性や情報公開とアメニティの向上に努力し、患者様の目線での丁寧な接遇に努めます。医療連携室を再整備して逆紹介機能を高め、登録医制度や開放型病床病院を目指します。また、福祉や老健施設や訪問看護ステーションとの連携を強め、急変時や短期入院のご要望に応えられる体制を作りたいと思います。そして高度医療機器整備と病院を更新築して利用する皆様に喜んでいただける力をつけたいと願っています。皆様の忌憚のないご意見をいただき「地域で選ばれる病院」になりたいと思っていますので是非よろしくお願いいたします。



日本の医療は世界一、 しかも安い

マスコミに連日医療の問題が取り上げられています。残念ながら医療事故等で医療界が反省せねばならないことも多々あります。しかし誤解も多く、知っておいたほうが良いのに何故か提供されていない常識となるべきこともありますのでご紹介したいと思います。



小雀内科医院院長
(前 戸塚区医師会長)

新海 毅

健康達成度の総合評価世界第一位

日本の平均寿命が世界一なのは皆さんよくご存知だと思います。WHO（2000年資料）によりますと日本は健康寿命も世界一（アメリカ24位）で、健康達成度の総合評価も世界一（アメリカ15位）です。同じくWHOの資料によると乳児死亡率は出生千人対3.6人とイギリスの6.1人、アメリカの7.6人等と比較して低くなっています。イギリスでは癌や整形外科手術は数ヶ月待つのが当たり前になっています。

日本の医療費は安い

ではその世界最高の医療を支える費用はどうなっているのでしょうか。OECD（1998年資料）によると総医療費と国内総生産との比は先進諸国の中で18位（アメリカ1位）と低く抑えられています。例えば急性虫垂炎（いわゆる盲腸）の手術でニューヨークでは243.9万円（1日入院）日本37.8万円（7日入院）{AIU保険会社2000年資料} また入院期間が短い為病院前にホテルが有り、多くの術前検査と術後の急変に備えてそれに泊まらなければならず、また別に出費がかさみます。

医療費の窓口料金が上がれば 景気は悪くなる

東大総合文化研究科の松原教授によれば、医療費自己負担の大幅引き上げが始まった97年頃から所得に占める消費の割合が低下（通常の不景気では上昇してしまう）、高齢者の貯蓄率が上昇（通常の不景気では下降してしまう）という経済学的にみれば「異例」の事態が起きていると指摘されています。あまりの将来不安の

異常な強さの為、通常削れない出費例えばエンゲル係数を下げても、低くなった所得から貯蓄率を高めていると考えられます。「結果的に経済の成長が望めなくなる」と言われております。後年当時の宮沢大蔵大臣でさえ失敗を認めておりました。それから何度も改悪があり景気はどんどん悪くなっております。

その他まだまだ日本の医療とそれを取り巻く環境には問題がたくさんあります。まずは医療事故ですが、猛省し努力はいたしておりますが医療施設がリストラをしなければならぬようではそれが起こりやすい環境を作ってしまいます。日本の大幅輸出黒字と引き換えに外国の倍ほどの価格で医療材料、薬を輸入しなければならないのは筋違いだと思います。高額医療上位1%の患者さんに25%の医療費（平成7年の統計ですがこの傾向は強まりこそすれ弱まってはおりません）、上位5%の患者さんに54%の医療費が掛かってしまっており、下位50%の患者さんはたった9.7%ですんでいます。対医療費効果も考え予防注射同様に生活習慣病の克服に力を入れなければなりません。同等の効果で安い後発品の薬の使用率を高める必要もあります。うつ病は治療すればQOLを治療前と比し最も高めることが出来る疾患ですが、日本では欧米に比し抗うつ薬の総使用量が著しく低く、それとしては未治療に放置され自殺も年間約3万人あり、それだけでも平均寿命を短くしております。これらの諸問題は医療関係者のみがかかわっていても良い方向には向かないことばかりです。皆様のご理解を得ながら我々も日本の良い医療を守り、さらなる向上に邁進したいと思っております。

地域医療連携室について

医療技術の進歩や高齢化社会の進展で、一つの医療機関において完結型の医療を求めることが困難な現在、新しい医療供給システムといわれる「地域医療連携」の構築が求められています。プライマリー・ケアの機能が発揮できる「かかりつけ医」と組織医療を担う病院との上手な連携が効率的な医療の推進につながり、その結果として、質の高い医療のサービスの提供と医療資源の有効活用が可能となります。

当院の地域医療連携室は、連携システムを効率的に機能させて、地域の患者様、ご家族が安心して治療の継続と療養とができるよう支援する役割を目指します。

1. 業務場所

管理棟2階「地域医療連携室」

2. 業務内容

(1) 毎日

1. Faxで送られてくる患者紹介状の取り扱い（来院日の確認や各診療科との連絡調整）
2. 紹介状持参患者のデータ入力
3. 紹介元医師に対する紹介状持参患者の「来院報告」
4. 逆紹介患者票の送信
5. CT、MRI、RI、超音波、脳波の各検査及び放射線治療の来院日の確認（受付は各検査科で行っています）

(2) 随時

1. 近隣の医師会・診療所等に外来診療担当表及び患者を紹介していただくための文書等を発送
2. 近隣救急隊への宿日直勤務表の送信
3. 各種統計・集計表の作成

(3) その他

1. 当院では、「地域連携ファイル」（地域医療機関の情報を集約したもの）を作成し、逆紹介の推進に努めております。今後もファイル作成の充実を考えておりますので、よろしく願いいたします。
2. 近々、紹介状等のメールによる送付を予定しております。
3. ご意見、ご希望等がございましたら、下記までお寄せ下さい。

第3回 国立病院横浜医療センター・戸塚区医師会懇話会開催される

昨年は大雪のため紙上懇話会となったこともあり、大変心配したが、平成12年12月8日（月）、予定通り開催された。出席者は、医師会から佐藤会長をはじめ18名、当院から高橋院長をはじめ43名、計61名と非常に盛会であった。

今回は、医師会の役員の方々に当病院の現状と今後の方向性を少しでも理解してもらえるよう、地域医療連携を中心とした非常に盛りだくさんの資料を準備した。そのため、資料などの説明に長時間を要した感がある。

最後に、医師会の先生方から、「SARS患者をきちんと診られるよう院内整備を行う予定はないか」、「外来の患者数が少し多いのではないか」、「紹介患者数の増加に比し、逆紹介患者数の伸び悩みは」、「もっと身近な問題、例えば、紹介患者さんを外来で長時間待たせない、などに目を向けてほしい」など、当院に対して、率直な、貴重なご意見、ご要望を頂いた。



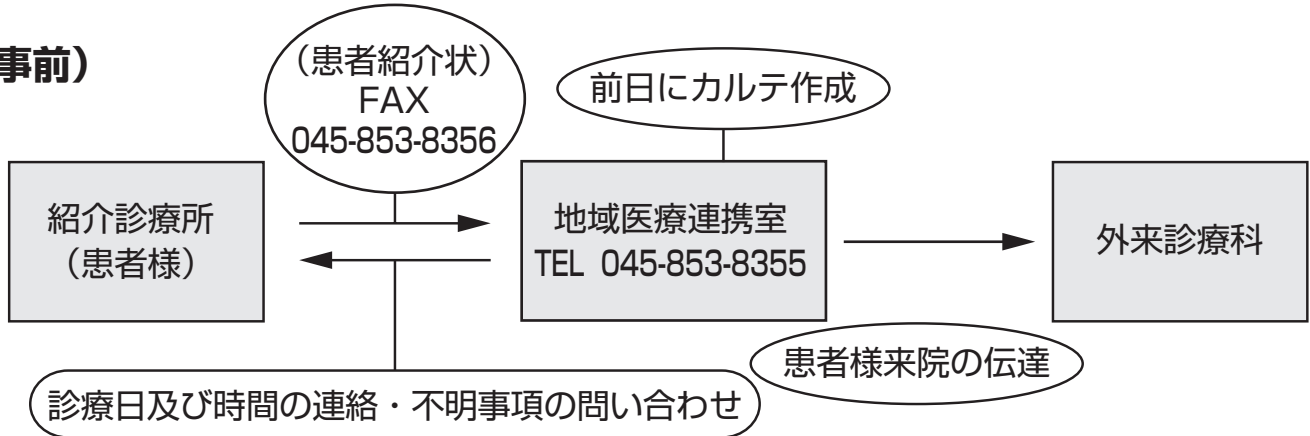
地域医療連携室

TEL. 045-853-8355
FAX. 045-853-8356

内線 (2275)

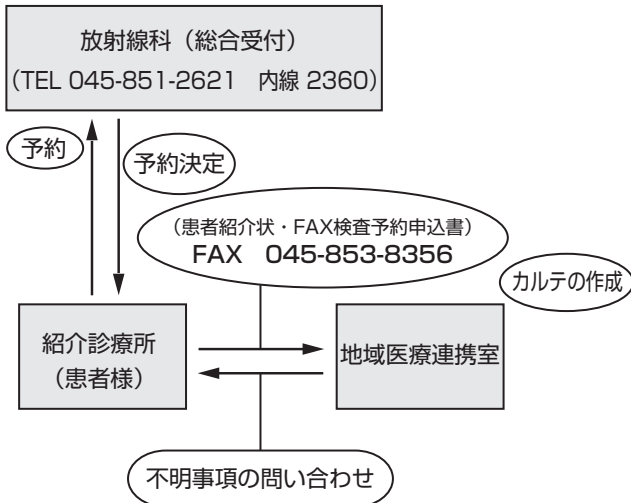
診察の予約紹介フローチャート

(事前)



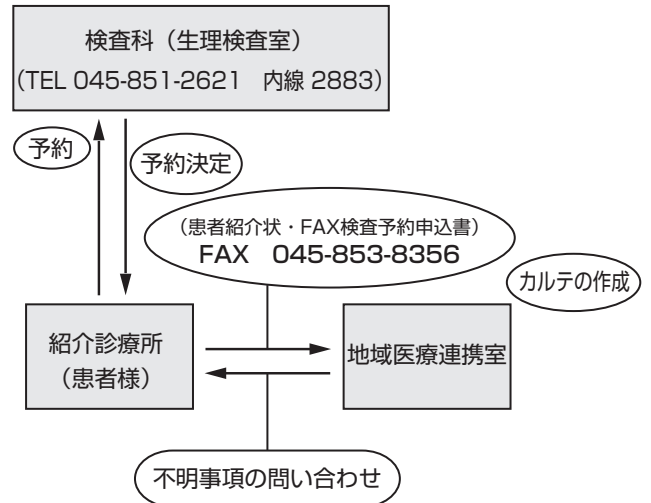
CT・MRI・RI検査予約フローチャート

(事前)



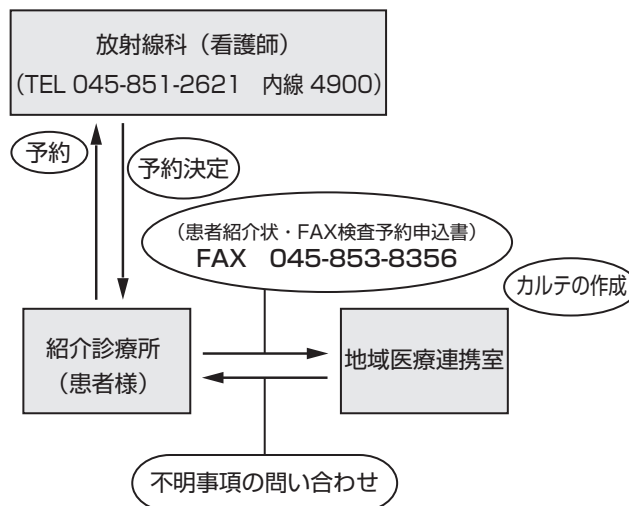
超音波・脳波検査予約フローチャート

(事前)



放射線治療予約フローチャート

(事前)



SARS対策の知恵と工夫

当院にはSARS患者さまを治療できるような陰圧個室がなく、外来の隔離体制も不十分であることから、知恵と工夫でSARSの対応をしようと以下のような取り組みをしています。

医療安全管理室と院内感染防止対策委員会が共同で7月、11月と2回にわたり、夜間・日中平日を想定したシミュレーションを実施しました。

2回のシミュレーションを通して、SARS（疑い）の電話相談や直接来院されたときの安全な対応ができるようマニュアルを作成し、SARSチーム連絡体制を検討しました。今後も情報収集しながら、タイムリーに改訂・対応をしていきたいと思ひます。



ご来院の皆様へ

<SARSに関するお願い>

現在までに、日本国内においてSARSの発生報告は、ありません。
しかし、最近、日本国内でもSARS（中国で流行している新型肺炎）が発生するのではないかと心配されています。
海外渡航から帰国後10日以内の方あるいは、SARSが疑われる方と接触した場合（38度以上の発熱と咳・呼吸困難等の症状が出た方と一緒にいた。また、家族の方が海外の出張より帰国した等の場合）は、病院への来院をお控えください。
過剰な心配は不要ですが、感染を防ぐために上記の点についてご協力お願い致します。
尚、SARSの感染が疑われる場合は、専門医療機関を受診することが望ましいのでお住まいの福祉保健センター（旧保健所）に電話でご相談ください。
平成 15 年 5 月 23 日

国立病院横浜医療センター 院長

現在、横浜市内では、市立市民病院(保土ヶ谷区)が受け入れ機関となっております。受診の際は、あらかじめ電話連絡し、マスクをして下さい。

外泊または外出される患者さまへ

現在まで日本国内ではSARS（中国で流行している新型肺炎）の発生はありませんが、最近、日本国内でもSARSが発生するのではないかと心配されています。

外泊または外出中に、SARSが疑われるかと接触し、心配な場合（中国から帰ってきて熱が出た人と一緒にいた、ご家族の方が中国の出張から帰ってきた、など）は、病院に戻る前に入院中の病棟にお電話ください。

SARSは流行地に旅行する以外は、SARSに感染した方と濃厚に接触する（長時間一緒に部屋にいる）ことがなければ感染しません。

過剰な心配は不要ですが、感染を防ぐために上記の点についてご協力お願いいたします。

2003年5月23日

国立病院横浜医療センター 院長

5月の提示

入院患者さまへのご案内

SARS（疑）対応シミュレーションの実際より



医師はシューズカバーも履き、全身を覆います。

看護師長はマスクを着用しています。



1.5m離れることで、飛沫感染を回避できます。



患者

事務当直

院内感染防止の第一歩は隔離です。今冬の流行に備え、病院に入る前に、ご連絡いただけるよう病院入り口にインターホンを設置します。福祉保健センター（旧保健所）と協力しながら、迅速に適切な対応を取っていきたく考えています。

就任挨拶

救命救急センター長 就任挨拶

救命救急センター長 山本 俊郎

平成15年12月20日に横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター、高度救命救急センターから国立病院横浜医療センターに赴任致しました山本俊郎でございます。藤津和彦救命救急センター長の後任として平成16年1月1日にセンター長を拝命致しました。

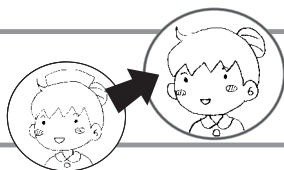
私は昭和54年に横浜市立大学を卒業し、西山診療部長と同じ第2外科で外科学を学び、平成8年より救急医学に携わってまいりました。最近では、自殺企図の再発防止に興味を持っております。

救命救急センターに代表される高次救急医療では内科、外科、整形外科、脳神経外科、集中治療をはじめとした多分野の横断的協力が得られなければ成り立ちません。当センターでも、ハード、ソフトの両面にわたり改善しなければならない問題が山積し、皆様に御迷惑をおかけしておりますが、高橋院長、藤津前センター長の指導の下に鋭意努力していく所存でございます。つきましては、戸塚区はもとより各医師会の諸先生、横浜市をはじめ各消防局の皆様のご理解、ご協力を賜りますと共に、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



看護部だより

ナースキャップの着用を 1月1日よりやめました



看護師のイメージといえばナースキャップをつけた白衣姿でしょう。長い歴史の中でキャップは看護師の象徴とされてきました。

明治22年爆弾で両足を失った大隈重信の付添い看護婦がエプロン・前が高いキャップを付けていました。大正15年以降、前面に高く、菊の花をかたどった15のひだのついたキャップを看護師が自製する慣例でした。戦後に、アメリカの公立学校出身者のキャップの形となり様々な変遷をたどってきました。

今回、看護師の象徴とも言えるナースキャップをつけることをやめました。ナースキャップをつけるという行為の中には、いろいろな思いがあります。「看護師になる」「気持ちを引き締める」「責任感」など……。そんな、重みのある看護師の象徴とも言えるナースキャップを、安全性・清潔性・効率性を考慮して、あえて着用をすることをやめました。

たとえ、ナースキャップをはずしても、一人一人の心の中に『ナースキャップ』を付けて質の高い“思いやりのある看護”が提供できる看護師であるようにしていきます。



国立病院横浜医療センター病例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科医長
045-851-2621(代)

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第3月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松消化器科医長・松島消化器科医長
045-851-2621(代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

横浜戸塚地域病院循環器疾患研究会

本会は循環器関連疾患の診断、治療技術の向上を図り、会員相互の情報交換を通じ、横浜戸塚地域の専門医の連携を強化することを目的として、平成14年11月に発足しました。特色のある研究会とするため、年2回開催される研究会では4～5施設から診断・治療に難渋した症例などが発表され、座長のもとで自由闊達な討論が行われています。各施設の特徴と循環器内科医、心臓血管外科医の得意分野を知り、各病院の棲み分け、連携による共存共栄を図り、地域医療への貢献を目指します。診療所医師、会員に随伴する医療従事者も参会可能です。毎回医師25名、医療従事者5名前後の参加があります。次回開催は平成16年6月を予定しています。



なお、現在の会員施設は以下の9施設です。

- 大船中央病院
- 日立製作所戸塚総合病院
- 西横浜国際総合病院
- 戸塚共立第2病院
- 東戸塚記念病院
- 藤沢御所見病院
- 医療生協かながわ生活協同組合戸塚病院
- 聖隷横浜病院
- 国立病院横浜医療センター

(順不同)

お問い合わせは

国立病院横浜医療センター
副院長 青崎 正彦
045-851-2621(代)

～お知らせ～

女性診療外来では、今年度も横浜市女性フォーラムと協力して、女性健康セミナーを開催する予定です。数回にわけて更年期や、乳腺疾患、リウマチ、尿失禁などについて、わかりやすく説明し、どうすれば楽に過ごせるか、どのように医療機関にかかればよいかを御一緒に考えてゆきたいと思っています。

お問い合わせは

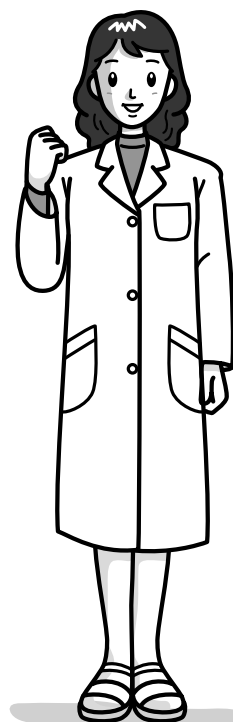
女性診療外来

アレルギー科 医長 青木 昭子
外科 医長 土井 卓子
045-851-2621(代)

地域の諸先生からご紹介いただいた関節リウマチなどリウマチ性疾患の患者様の経過報告を中心とした症例検討会を開きたいと思えます。3月下旬に第1回が開催できるよう現在準備中です。

お問い合わせは

アレルギー科 医長 青木 昭子
045-851-2621(代)



< 血圧と塩分の深〜い関係 >

栄養管理室 落合 由美

寒〜い冬。皆様、寒冷対策を心掛けていますか？急激な気温の低下によって、血圧が上昇することはご存知ですか？高血圧が恐いのは、これが持続するとによって、脳卒中や虚血性心疾患等の合併症の引き金となることです。

今回のテーマは『高血圧』。高血圧の食事療法といえば、『減塩食』を思い浮かべる方が多いと思いますが、何故『減塩』なのでしょう？さっそく【血液と塩分の関係】についてお話いたします。



塩分を含む食物を摂ると、塩分(NaCl)は、消化管から吸収され、血管の中に入ります。水分は自由に血管から細胞の中に入り出すのに反して、塩分は細胞の中に入らず、血管の中に留まります。血管中の塩分濃度が高くなると、血管の中に水分が留まるようにはたらし、結果的に血流量を増やします。血流量が増えるとどうなるのでしょうか？？血管の広さは決まっていますから、血流量が増えるとその圧力、つまり血圧が上がるのです。また、心臓はそれだけたくさんの血液を体内に送り出さなければならぬため、大変な負担がかかります。そうです。塩分過剰と血圧上昇には、深〜いかかりがあるのです。

日本人の一日平均塩分摂取量は、12〜13g程度。健康のためには、10g以内。高血圧の方は7g以内を目標にします。つまり、1/2〜2/3程度に減らすよう心掛けることが大切です。

しかし、薄味にするばかりでは、味気ないお食事となってしまいます。

でも、ちょっとした工夫で、減塩食でも美味しく食べることが出来ます。さて、そのコツとは…？

減塩でも美味しく食べる工夫

☆加工品より天然食材を

干物・練り製品・缶詰・ハム類等の加工品は塩分が多いもの
あじ干物→生あじ焼+醤油+レモン等でグ〜ッと減塩です



☆天然の旨味の活用

昆布・かつお節・煮干し・干し椎茸等の旨味をきかせる
(だしの素・味の素等化学調味料はナトリウムが多いので注意)

☆香ばしさを大切に

上手に焼いた“きつね色”の揚げ味、
ゴマ・ピーナツ等の風味でカバー

☆酸味の利用

酢・レモン等酸味を利用した酢の物・サラダは
低塩でもさっぱり美味しい！！



☆香味野菜・香辛料で香り高く

みつば・しそ・生姜・ニンニク・カレー粉等で香り良く

☆減塩醤油・だし割り醤油・ポン酢の利用

減塩醤油は何ととっても塩分は醤油の1/2

☆かけ醤油より、つけ醤油

ジャ〜っとかけるよりも、つけて食べる方が、
最初に塩分が舌に当たるため、
塩味をより強く感じます



☆塩分の多い料理は控えましょう

塩分の多い漬物・佃煮類はごく少量とし、お浸しや酢の物等薄味料理を食べましょう。
味噌汁・シチュー・麺類のつゆ等、汁ものは薄味でも塩分が多いもの。
減塩を守るには「一日一杯まで」を守りましょう。

15.11.14.戴帽式



15.12.12.クリスマスコンサート



▲ボランティアの皆さんによる
大正琴・横笛による演奏

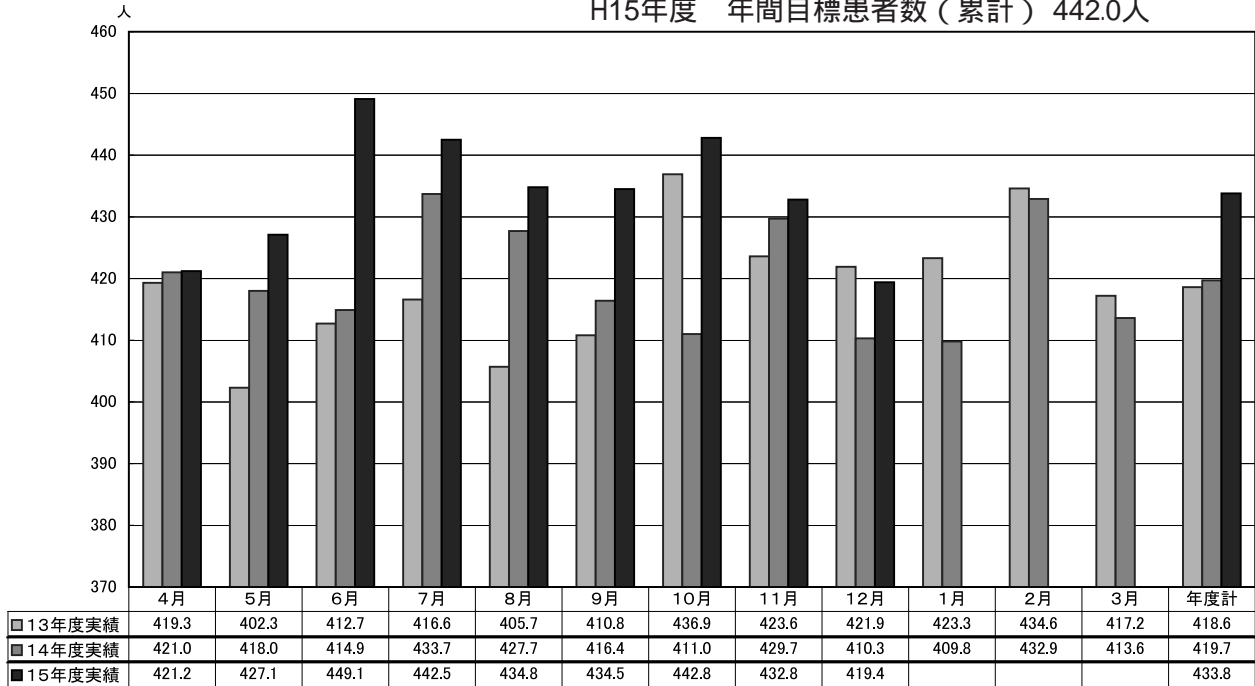
15.12.15. 第1回 クリティカルパス大会



患者数の動向

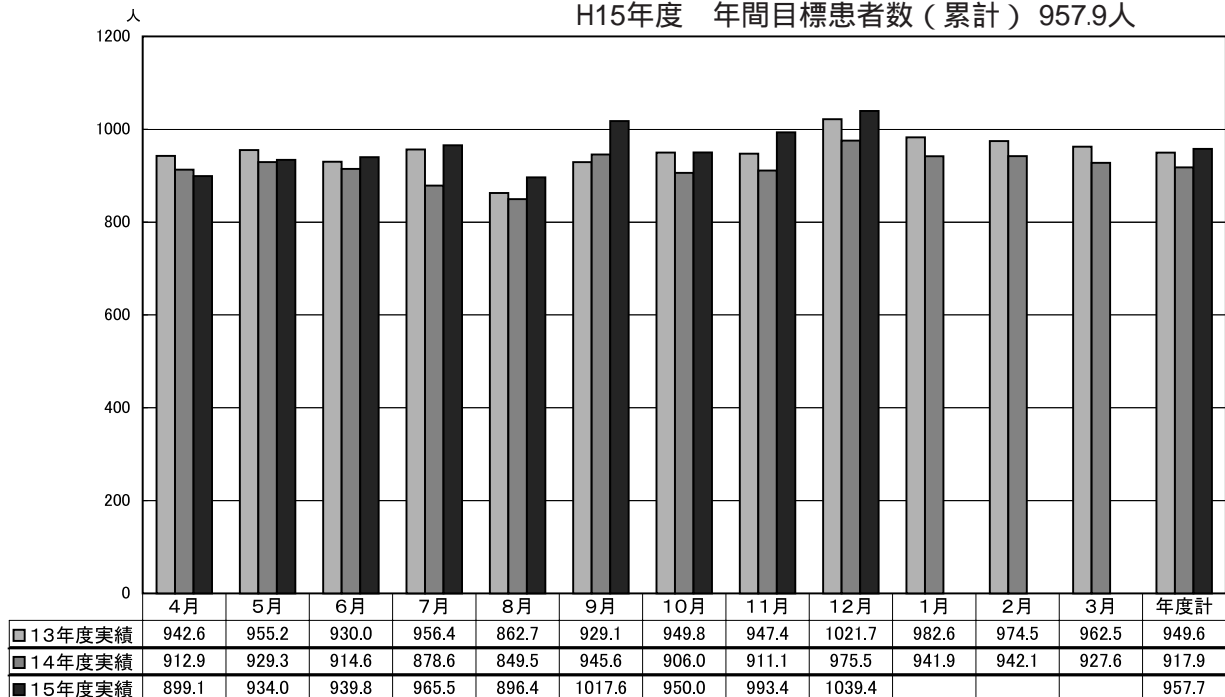
入院患者数年度別月別比較（H15年12月31日現在）

H15年度 年間目標患者数（累計）442.0人



外来患者年度別月別患者数（H15年12月31日現在）

H15年度 年間目標患者数（累計）957.9人



編集後記

今年は私の干支 猿です。猿は自分で言うのは照れますが、飛躍することを余儀なくされます。当院も独立行政法人化へ移行。或いはIT化一部導入も予定されます。これからが激動の横浜医療センターの日の出が見られそうです。職員一同、日々新たな目をもって知恵と努力を出しあいましょう。

（編集委員 加藤 一郎）

国立病院横浜医療センター 外来診療担当医表

平成16年2月1日～

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科・初診	交代医師	交代医師	井上優子	青木昭子	青木昭子	△:午後のみ診療 ▲:紹介状持参の方のみ
内 科	高木佐知子	多胡克哉	宇治原 誠	宇治原 誠	検査日	
神 経 内 科	桃尾隆之	検査日	△山口滋紀	桃尾隆之	検査日	
呼 吸 器 科	椿原基史	検査日	橋場友則	検査日	椿原基史	
消 化 器 科	松島昭三	塚田百合子 △小松達司(肝)	松島昭三 岸野真衣子	磯野悦子 高山敬子	小松達司	
循 環 器 科	青崎正彦 巽 藤緒	加藤文二 岩出和徳	田中直秀	▲田中直秀	野本文子 岩出和徳	
アレルギー科	青木昭子	検査日	検査日	△井上優子	検査日	△:午後のみ診療 予約制 14:00～16:00 完全予約制。受診希望の方は事前にお問い合わせ下さい。
心 療 内 科	検査日	久保田真司・長治裕子	検査日	小澤篤嗣	検査日	
精 神 科	久保田真司 長治裕子	小澤篤嗣	浅見 剛	久保田真司	小澤篤嗣	
小 児 科	伊部正明 志賀綾子	福山綾子 友野順章	伊部正明 志賀綾子	福山綾子 伊部正明	伊部正明 友野順章	
外 科	若杉純一 大田貢由 (外来手術日)	西山 潔 長嶺弘太郎	◇大滝修司 □急患・新患のみ	土井卓子 高倉秀樹	◆高橋俊毅 ◆山本俊郎 □急患・新患のみ	◇:第2・第4水曜日 予約制 ◆:予約制 □:交代医師が担当します。
整 形 外 科	岡田周介 塩川健夫 加藤慎也	日塔寛昇 岡田周介 鈴木毅彦	岡田周介 加藤慎也 茅野真子	日塔寛昇 塩川健夫 鈴木毅彦	日塔寛昇 塩川健夫 茅野真子	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00
形 成 外 科	高瀬 税	▲高瀬 税	△高瀬 税	手術日	高瀬 税	▲:外来手術日 △:手術日のため午前のみ
脳神経外科	急患のみ (手術日)	松永成生	竹本安範	急患のみ (手術日)	藤津和彦 橋田要一	
心臓血管外科	東館雅文	手術日	検査日	大野英昭	東館雅文	
皮 膚 科	脇田加恵 田辺健一	脇田加恵 田辺健一	脇田加恵 田辺健一	脇田加恵 田辺健一	脇田加恵 田辺健一	
泌 尿 器 科	本田直康	本田直康	手術日	黒坂真二	本田直康	
産婦人科	婦 産 中村秋彦 系数 功	鈴木良知 外村光康	系数 功	▲中村秋彦 系数 功	外村光康 中村秋彦	▲ 第1・3・5週。第2・4週は検査日。
眼 科	設楽幸治 森 旅宇子	設楽幸治 森 旅宇子	設楽幸治 森 旅宇子	設楽幸治 森 旅宇子	急患・初診のみ (手術日)	(受付)初診・予約外再診とも 月～木曜日 8:30～10:00 初診のみ 金曜日 8:30～ 9:30
耳 鼻 咽 喉 科	山田昌宏 花村英明	山田昌宏 今井容子	手術日	花村英明	山田昌宏 花村英明	
放 射 線 科	栗原須生美 ※注①	金原一弘 ※注②	日下部きよ子 (甲状腺外来) ※注③		金原一弘 ※注①	※注① 月・金曜日 8:30～11:00 ※注② 火曜日 13:30～15:00 ※注③ 診察日は放射線科にお問い合わせ下さい。
歯科口腔外科	塩入重彰 飯嶋 亨	塩入重彰 飯嶋 亨	手術日	塩入重彰 飯嶋 亨	塩入重彰 飯嶋 亨	新患(紹介状を持参して下さい)は、火・木曜日の午前(8:30～11:00)。その他は再診(完全予約制)
小 児 科	発達(福山) 神経(筑丸) ※第4週	感染免疫(伊部) 腎(中村) ※第1週	予防接種(志賀・友野)	乳児検診(福山・友野)	喘息(伊部・志賀) 循環器(瀧間) ※第3週	
外 科		乳腺外来(超音波検査) ※注④		乳腺外来(乳癌検査) ※注⑤		※注④ 乳腺炎、乳癌など乳腺疾患全てを対象としています。受診希望の方は事前にお問い合わせ下さい。 ※注⑤ 横浜市乳癌検診の受付:13:30～15:00
専門外来(午後のみ)	女性診療外来 ※注⑥	癌化学療法外来	ストーマ外来 ※第2週	癌化学療法外来		※注⑥ 担当医:土井、青木、脇田、磯野 女性医師の診察を希望される方は、科にこだわらず受診できます。なお、女性診療外来日以外に、皮膚科では月～金曜、外科では木曜に女性医師が担当しておりますので、こちらの方もご利用下さい。
脳 科			脳ドック(要予約)			
産 婦 人 科	母親教室			母乳外来		
耳 鼻 科	補聴器外来 腫瘍外来	アレルギー外来		補聴器外来	学童外来	
ア ル コ ー ル					交代 ※注⑦	※注⑦ 第2・3・4・5週:米田 13:30～ 完全予約制
循 環 器 科		ペースメーカー外来 ※注⑧				※注⑧ 第2・4週火曜日午後 必ず事前に連絡して下さい。

初 診 受 付:平日8:30～11:00
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり
再診(予約外)受付:平日8:30～11:00
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり
休 診 日:土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

- お知らせ**
1. 消化器科(月) 山口医師から松島医師へ変更となります。
 2. 1月6日(金)より、外科 山本医師の外来を開始します。
 3. 皮膚科 嶋村医師が交代となります。

《表紙》

四季折々の富士山は刻々と変化に富み、万葉の時代から不二山とも呼ばれ同じ富士の姿は二度と見られないといわれている。

特に厳しい冬の富士の姿は雄大で格別なものがあり、厳しい時だからこそ富士のような心で何事も動じることなくありたいと願うのは私だけではないだろう！

副ボイラー技士長 和田 明

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

